MISASAGIKAI

PLANNING REPORTS 2025

事業計画書

MISASAGIKAI

理念

Philosophy

ミッション

先憂後楽をモットーに社会課題を解決し、ご縁のあるすべての人の幸せを創造する

ビジョン

人生の中でこの人に出会えてよかったと思える人材があふれる会社となる

社会の公器として責任を果たす会社となる

コンピテンシー

品位	礼節を重んじ、信頼される人となる
責任	サービス品質向上、職場環境向上に対して常に責任を果たす
規律	決められたルールを守り、組織の秩序を守る
優しさ	困っている人がいたら助ける
共感	思いやりと感謝の心で他者に寄り添う
感性	感性を高め、自分の可能性を拡げる
器量	器量を磨き、プラスの影響を与えることができる人となる

目次

Contents

01 イントロダクション P04

02 キーポイント　重点取り組み事項 P06

03 みささぎ会のサービス P16

- 藤井寺特別養護老人ホーム
- 高齢者ケアセンターつどうホール
- 高齢者ケアセンター大仙もずの音
- 北第一地域包括支援センター
- 1on1保育園

04 ソーシャルリレーション事業 P53

05 スキルアッププログラム P65

06 キャリアパス P75

INTRODUCTION

01
イントロダクション
Introduction

縁に感謝をすること

理事長　奥田 赳視

縁を大事に 器を拡げ 磨き 支え合う場所

2024年度報酬改定の影響を注視していましたが、基本報酬がダウンした訪問介護は過去最多の倒産数、働き手不足による介護事業所の倒産も過去最多という数字が出ています。さらに介護保険制度創設以降、初めて介護職員数が減少に転じました。国の施策により、現場は振り回され続けています。

福祉を取り巻く環境は年々厳しさを増している中、危惧していた通り生産性向上という言葉だけが一人歩きしています。みささぎ会ではサービス品質向上、職場環境向上につながる実践を積み重ね、経営安定力を高めていきます。

そして、よりよいパフォーマンスを発揮できる組織を目指すヒントとして組織の成功循環モデル（関係の質→思考の質→行動の質→結果の質→関係の質→・・・）があります。関係の質を高めるためには自己共感、他者共感、相互理解を深める必要があり、他者と向き合うためには自己と向き合う必要があります。そこでいままで以上にスタッフひとりひとりにフォーカスした学びの場を設けることとし、”鼎縁“（テイエン）とネーミングしました。鼎（カナエ）は器であり、自分自身の器を拡げ、磨いていく。そして鼎の特徴は3本の脚を持つことであり、支え合うことの重要性を示しています。また自分の想いを”叶え“ るという意味もあります。縁は出会いへの感謝です。またその人にとって癒され、前向きで自由になれる“ 庭園 ”という意味も込めました。

当たり前の日常が脅かされている現代だからこそ、みささぎ会との縁がその人の人生や地域とってプラスとなれるような組織を目指します。

02

キーポイント ー重点取り組み事項ー

KEY POINTS

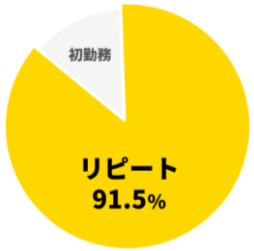
採用力強化

KEY POINTS

人材採用の取り組みについて

- 少子化や日本人介護学部生減少など新卒採用は非常にハードな状況であるため、新卒、中途、外国人など組み合わせが重要になってきます。
タイミーのような新たな採用経路も積極的にチャレンジをしていきます。

タイミーの利用



POINT 希望の人材を呼べる

求人内容に求めるスキルを設定すると、**条件に合ったワーカーがマッチング**します。勤務前にマッチングしたワーカーの評価を確認できるため、評価の低いワーカーは事前にキャンセルできます。

POINT 最短即日でマッチング

24時間以内に70%以上の求人がマッチング(※)しており、急な欠員や繁忙期にも高確率でワーカーを呼ぶことが可能です。

※[マッチング率定義] 掲載案件に対して、勤務確定した案件の比率 [対象] 47都道府県 [対象期間] 2022年7月1日～12月31日

福祉系アプローチ

FACE to FUKUSHI

FUKUSHI meets!

FUKUROSS
福祉と出会う交差点

非福祉系アプローチ

マイナビ

OfferBox

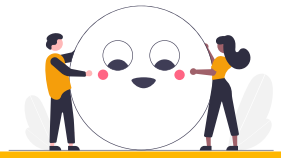
定期人事面談

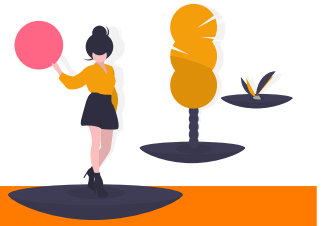
KEY POINTS

定期人事面談実施（正規職員対象）

- 2024年度より人事部職員と理事長による面談を実施しています。直属上司の面談に加え、異なる角度からの面談を行い、関わり合いを増やすことで相談しやすい体制を構築します。

面談実施時期





職種は関係なく、新卒中途の正規社員が対象

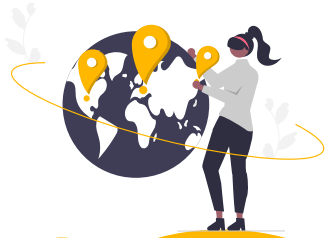
入社後	1ヶ月後	3ヶ月後	9ヶ月後	1.5年後	2年後
	人事部面談	人事部面談	理事長面談	人事部面談	理事長面談

職場環境向上

KEY POINTS

年間休日の増加

- 105日だった年間休日を、3年間かけて110日まで増やしていきます。



1 2023 105日

2 2024 108日

3 2025 109日

4 2026 110日

関係の質 向上

KEY POINTS

使用する表現について

- 内部では、≪**部下**≫という言葉を使用しないこととします。この言葉が無意識に上下関係を生み出してしまう傾向にあるからです。同僚として対等に接するようにしましょう。

- 内部では、≪**役職名**≫で職員同士を呼ばないこととします。同僚同士の距離感や上下関係を強く生み出しすぎないためです。

※奥田理事長のことは、奥田さんや理事長でも可

職場環境向上

KEY POINTS

第１回認知症ケアスキルマイスター試験を実施

- 受講研修が段階的に上位研修が必要となり、すぐに上位ランク取得はできない仕組みです。ケアスキルマイスター取得もスキルアップと給与アップに直結します。

グレード	求められる技能	試　験	資格要件	研修要件
1 ビギナー	‣認知症や認知機能の基本を理解している。 ‣認知症の人への適切な対応ができる。 月額手当　2,000円	・筆記試験	介護福祉士	・認知症介護実践者研修
2 初級	‣認知症や認知機能の基本を理解している。 ‣認知症の人への適切な対応ができる。 ‣ユマニチュードの基本を理解し実践できる。 月額手当　5,000円	・筆記試験	介護福祉士	・認知症介護実践者研修 ・ユマニチュード実践者養成4日間研修またはユマニチュード基礎研修Ⅰ Ⅱ Ⅲ
3 中級	‣認知症や認知機能の基本、原因疾患別の特徴を理解している。 ‣認知症の人への適切な対応ができる。 ‣ユマニチュードの基本を理解し実践できる。 月額手当　10,000円	・筆記試験	介護福祉士	・認知症介護実践リーダー研修 ・ユマニチュード実践者養成4日間研修
4 エキスパート	‣認知症や認知機能の基本、原因疾患別の特徴を理解している。 ‣対応困難な認知症の人への対応ができる。 ‣対応困難な認知症の人へのケアプランを立案できる。 ‣ユマニチュード技法を指導できる。 月額手当　20,000円	・筆記試験 ・実技試験 （現場）	介護福祉士	・認知症介護実践リーダー研修 ・ユマニチュードリーダー研修
5 マイスター	‣認知症全般に関する知識やユマニチュードの技術指導に係る研修を行うことができる。 ‣対応困難な認知症の人へのケアプランの立案を指導できる。 月額手当　30,000円	・筆記試験 ・実技試験 （現場・模擬講義）	介護福祉士	・認知症介護指導者養成研修 ・ユマニチュードリーダー研修

見守りカメラの導入

KEY POINTS

サービス品質向上と介護負担軽減

- 居室内での転倒・怪我などの事故検証ができることで事実に基づいた対策が取れ、サービス品質向上に繋がります。事故発生時の状況を残すことが、ご家族の安心にも結び付きます。
- 生体センサーを活用することで効率の良い見守りが実現され、介護負担軽減を図ります。

映像で伝えるナースコールシステム

居室内の温度/湿度/照度の環境をモニタリング

顔認識+骨格検出+ミリ波レーダーで離床動作を検知

睡眠時の呼吸状態やベッド上での状態を見える化

懇親会について

KEY POINTS

施設全体での懇親会再開

- **2025年4月19日（土）　大仙もずの音**
- **2025年4月26日（土）　藤特・つどう　合同**

- これとは別に、年2回部署毎の懇親会助成（¥4,000）は継続します。
- 感染症予防の観点から今後オフィシャルな懇親会として、忘年会新年会は開催せず4月の歓迎会を大規模なイベントとして行っていきます。

社会福祉連携推進法人始動

KEY POINTS

社会福祉連携推進法人Mirai設立

- みささぎ会と宥恵会が連携し社会福祉連携推進法人Miraiを設立しました。
  社会福祉連携推進法人は、社会福祉法人等が社員となり、福祉サービス事業者間の連携・協働を図るための取組等を行う新たな法人制度です。

社会福祉連携推進法人についての図
参照：厚生労働省『社会福祉連携推進法人の運営等について

社会福祉連携推進方針の記載イメージ
参照：厚生労働省『社会福祉連携推進法人の運営等について

社会福祉連携推進法人の名称		社会福祉連携推進法人　〇〇会
社員		社会福祉法人〇〇、社会福祉法人□□、社会福祉法人△△、 社会福祉法人●●、NPO法人〇〇
理念・運営方針		1. 社会福祉連携推進業務を通じて、地域住民に安心、安全かつ質の高い福祉サービスの提供を目指す。 2. 福祉・介護人材の育成・確保、定着を目指す。 3. 地域ニーズの変化を踏まえ、地域における福祉サービスを維持・確保していくため、効率的かつ透明性の高い経営の確保を目指す。
社会福祉連携推進業務を実施する区域		〇〇県及び□□県
社会福祉連携推進業務の内容	地域福祉支援業務	社員が共同で行う「地域における公益的な取組」の企画・立案、実施に向けた調整業務
	災害時支援業務	実施なし
	経営支援業務	社員の財務状況の分析・助言
	貸付業務	実施なし
	人材確保等業務	社員の人材の合同募集、社員間の人事交流、合同研修の実施等の調整業務
	物資等供給業務	実施なし

※以下は社会福祉連携推進法人が貸付業務を行いたい場合

貸付件名	令和〇年〇月〇日の社員〇〇に対する〇〇円の貸付け
貸付対象社員	社会福祉法人〇〇
貸付対象社員における重要事項に係る決定の確認方法	貸付対象社員の評議員会において、各年度の予算・決算等を決議するに当たっては、あらかじめ社会福祉連携推進法人の理事会において、承認を受けなければならないものとする。

法人理念研修

KEY POINTS

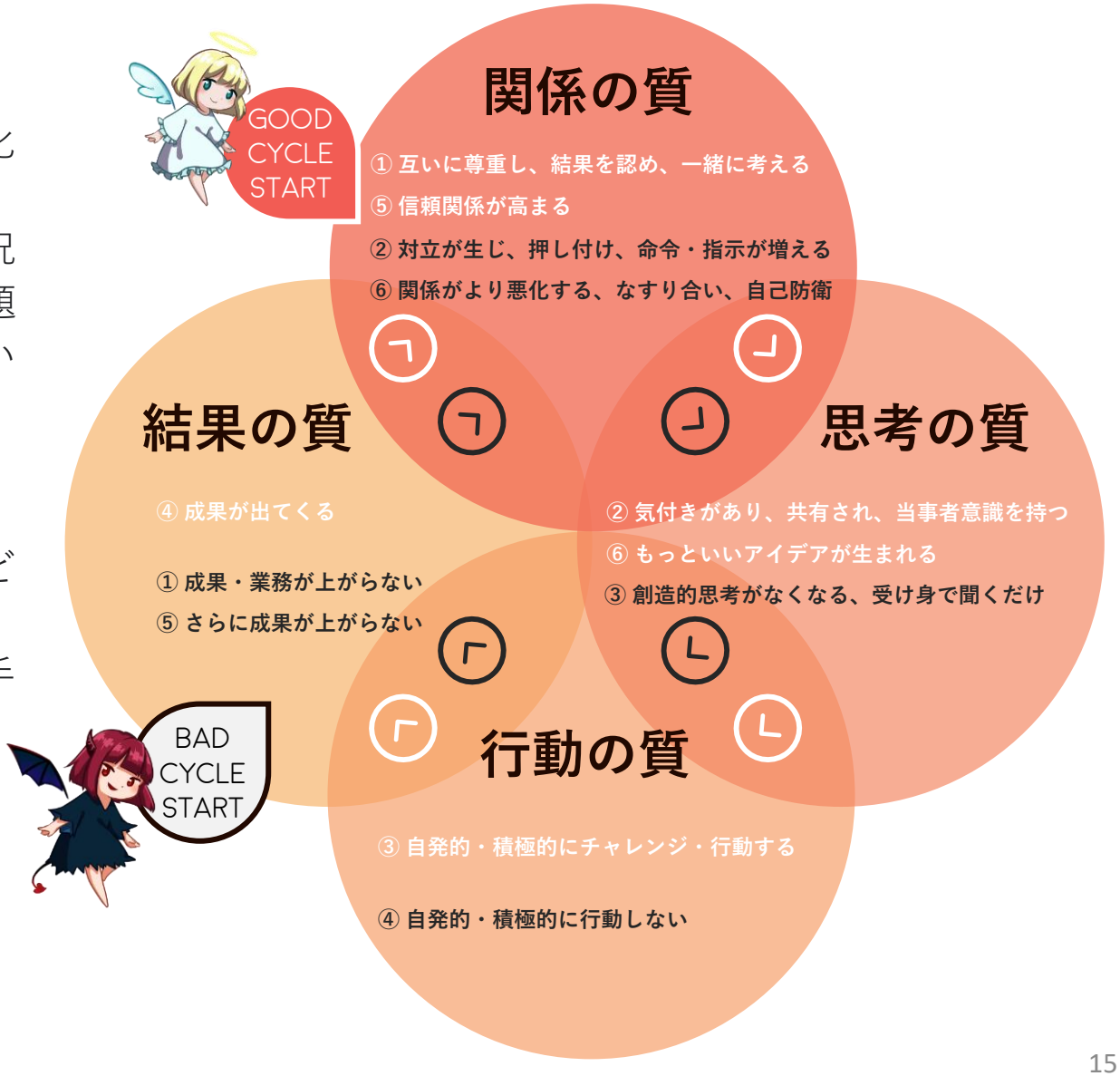
鼎縁　現状と未来の共有

- コロナ以降の劇的な社会環境の変化に対し、法人としてスピード感を持った対応が必要です。そんな状況だからこそ法人理念やあり方、課題やビジョンを共有し、理事長の想いを直接伝える機会を設けます。

- ケアの哲学やその人らしさの探究、組織マネジメント、対峙力向上などをグループワークを通じ学びます。時間外での実施となるため時間外手当や夜ご飯の手配なども行います。

組織の成功循環モデル

GOOD CYCLEは**関係の質**からはじまり**BAD CYCLE**は**結果の質**からはじまる



OUR GROUP

02
みささぎ会のサービス

Services of Our Group

藤井寺
特別養護老人ホーム

- **藤井寺 特別養護老人ホーム**
  生活支援部介護課 ／ 看護課 ／ 栄養課
- **藤井寺 デイサービスセンター**
- **ヘルパーステーション みささぎ**

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 介護課

サービス目標

- サービスの質の向上
- 業務改善、働きやすい職場環境を作る

実績目標　定員数：特養70名　SS10名

年間稼働率 100%

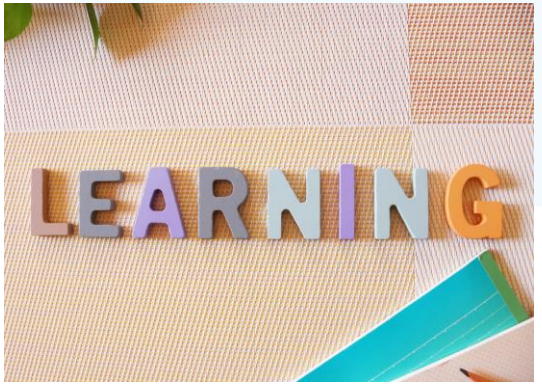
具体的な取り組み

利用者が楽しめる機会を増やすアクティビティ・イベントの充実

- 外出の機会を増やす
- 新しいアクティビティを考え、実施する
- 各フロアのイベントを企画し、開催する

職員が学習する機会を増やす

- 職員の学ぶ機会を増やすことで、知識・技術の向上により利用者に対するサービスの質を高めることに繋げる
- 申し送りや隙間時間等に短時間でも学びの機会を提供する（LINEWORKSの活用）
- LINEWORKSのアンケート機能を活用し、職員の学びの程度や学びたい項目の把握を行う
- 介護機器展の見学を含めた外部での研修に参加することで、介護技術の向上を目指し新たな新たな介護の方法について試行する
- 学びの定着と普及をしていくために伝達研修を適宜実施する



藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 介護課

感染症対策

- 感染症が頻発する時期の行事や活動について計画的に調整の上実施する
- 初期対応を徹底し、感染拡大を事前に防ぐ

ショートステイ

利用者ニーズに沿ったサービスを提供

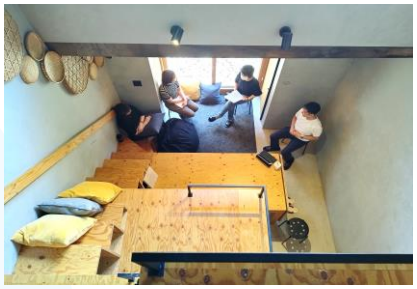
- 利用者により長く在宅生活継続してもらうため個別機能訓練の充実化を目指す
- ショートステイ用パンフレットを作成し、関係者（事業所・地域・家族等）に紹介をする

ミスト浴例

様々な交流の場を設ける

- 家族交流会の実施
- 地域のボランティア団体などとの関りを積極的に持つ

ボランティアによる踊りの様子



NVC研修の様子

外出

フラワー
アレンジメント

塗り絵

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 介護課

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養全体行事	花見	菖蒲湯	運動会	七夕まつり	夕涼み会	敬老祝賀会	遠足	遠足	餅つき	新年祝賀会	節分	ひな祭り
		遠足おでかけ	フローティングフレーム作成 民生委員				秋祭り	フローティングフレーム作成 民生委員	クリスマス会 ガールスカウト交流会	初詣		もんじゅの会
		母の日交流会	消防立ち合い訓練				おでかけ	消防立ち合い訓練				
各フロアで行う活動	←				誕生会（該当月実施　各フロア共通）				→			
	腹部レントゲン			花火	近況報告発送	敬老月間	花火会	紅葉散策	忘年会	七草粥	節分	ひな祭り
	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容
会議 各月主任会議実施	フロア本3	フロア新館	フロア本2	認知症学習会本3	認知症学習会新館		認知症学習会本2	フロア本3	フロア新館	フロア本2		
	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議
環境整備	衣替え 居室清掃	フィルター類 換気扇 ロス内	消防対策		大掃除		衣替え フィルター掃除	消防対策	大掃除	掃除	屋上 ベランダ掃除	車椅子
	リネン交換				業者大掃除		リネン交換		正月飾り（28日～）			

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 看護課

サービス目標

- 日常生活を送る中で健康管理と精神的に安定することのできる環境をつくる

実績目標

- 1カ月のレセプト

目標	210,000点

具体的な取り組み

感染対策の継続

- 感染予防マニュアルの周知・徹底し、クラスターが起こらないよう注意する
- 手洗い・消毒の励行や感染媒体にならないようにする

機能訓練

- 入所者及びショート利用者の個別機能訓練を実施し、拘縮の予防や身体的機能の維持と改善に努める
- 多職種との連携をし、利用者の情報の共有やポジショニングの実施をする

基本的なケアの充実

- 皮膚トラブルの予防と早期発見できるよう観察を行い、保清などのケアの充実をさせる
- 手足の爪のケアの実施をする

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 栄養課

サービス目標

業務内容の統一をする

- 現状のレシピや作業方法を見直し、給食部内における業務内容を統一していく。新たなレシピの考案や行事食への取り組みを行えるようする。

人材交流を実施する

- 栄養士同士の会議、大仙厨房との関わりの機会をもち、交流を広げながら個々の知識や能力を伸ばしていく
- 厨房同士の業務を体験する機会を設けることで、お互いの業務見直しや技術力の向上に取り組んでいく

具体的な取り組み

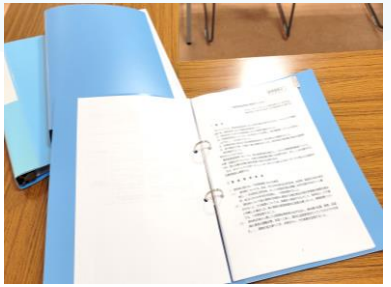
レシピの見直し、業務内容の統一

- 現在調理している内容をレシピに反映し、調理や栄養管理の統一を行う
- その過程で、作業方法に関してもマニュアル化し、誰であっても業務が行える工夫をおこなっていく
- また作業内容を見直すことで、食事会などの新たな業務へ挑戦できる機会をつくっていく。

コスト削減

- 廃棄を減らす、材料の変更を行うなどをおこない、美味しさを追求しながらコスト削減に取り組んでいく
- 作業の効率化のために新たな食材や機材の導入を検討していく

人事交流の様子



レシピのマニュアル化

藤井寺デイサービス

サービス目標

- 「利用者主体」のサービスを提供するため、「自己実現欲求」を満たせるアクティビティの開発と環境整備を行う

実績目標　定員数：39名

実人数	100名
1日平均利用者数	33.5名（稼働率85%）

具体的な取り組み

IT介護機器による更なる業務内容の改善

- IT導入により効率的な業務内容に改善を行う
- 今年度はさらに新たに機器を導入し、スタッフがより利用者に関わる時間を作る

運動サービス

- PT指導のもと、介護士や看護師と連携を行い、個々に適した訓練メニューを提供や開発をする

新しいアクティビティ活動の開発

- 個々のニーズに即したアクティビティ、イベント、体操メニューの開発や提供を実施する
- 創作活動の作品を展示する場をつくり、利用者のモチベーションが向上できる工夫をする

職員の心構え

- それぞれの個性を生かし、ともに笑顔で楽しくいきいき活動できる雰囲気作りをする
- わずかな時間でもコミュニケーションを行い、ニーズの把握をする
- 家族、介護者、ケアマネジャー、医療機関との連携を密にし、報告・連絡・相談を徹底し情報を共有する
- 積極的に研修に参加し、個々スキルアップをめざす

ヘルパーステーションみささぎ

サービス目標

- 要介護高齢者、障がいがある方だけでなく、乳児を抱える世帯等、さまざまな問題を抱える方への対応ができる人になる
- 在宅生活を一緒に考え、支援できる人になる

実績目標

月平均訪問時間	1500時間
要介護４・５の利用者割合	25%
夜間早朝加算	10名

具体的な取り組み

IT介護機器による更なる業務内容の改善

- 偏ることなく、色んな人が積極的に研修を受けて学ぶ
- 学んだ事を共有、実践、フィードバックしチーム全体のスキルを上げる
- 細やかなサービスを提供する為に、意見を言い合える環境を持続し、情報交換を密に行う

PTによる体位変換の研修

PTによる体位変換の研修

子育て支援研修の様子

高齢者ケアセンター
つどうホール

- **特別養護老人ホーム つどうホール**
  生活支援部介護課 ／ 看護課 ／ 訓練課 ／栄養課
- **デイサービスセンター つどうホール**
- **グループホームつどうホール**
- **ケアプランセンターみささぎ**

特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 介護課

サービス目標

- 利用者の満足度向上を目指す
- 業務改善を積極的に実施する

実績目標 定員数：特養50名　SS17名（内障がい２名）

年間稼働率 100%

具体的な取り組み

利用者の満足度向上

- 利用者や家族の希望を実現する行事やレクリエーションを企画、実施する
- 利用者に馴染みのある藤井寺市内のイベント参加や飲食店に積極的に出掛ける
- 利用者の居住空間（ベッド、テーブル・イス等）をより快適にする

業務改善

- 運営上必要な委員会や研修をより効率的に効果的に実施する
- ショートステイの入退所業務の効率化と記録業務の充実をする
- 夜勤業務の負担軽減をするために、見守りセンサー等のICT機器の情報収集行う

接遇マナーの向上

- 昨年度から力を入れている、職員の接遇マナーのスキル向上の取り組みを継続する
- ユマニチュード技法を実施するにあたり、トライ＆エラーを繰り返しながら積極的に取り組む
- 対応が難しい利用者に対して、職員が少しでも気持ちにゆとりを持って接する事ができるよう、カンファレンスやフロア会議の充実化を目指す

特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 介護課

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養全体行事	花見	菖蒲湯		七夕まつり	夏祭り	敬老祝賀会	遠足	遠足	忘年会 ゆず湯	新年祝賀会	節分	ひな祭り
									餅つき 年越しそば	初詣 書初め		
各フロアで行う活動	← 誕生会（該当月実施　各フロア共通） →											
				花火		敬老月間		秋の遠足	忘年会		節分	作品展示会
	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容	理容美容
クラブ活動	← 書道・フラワーアレンジメント（毎月実施　各フロア共通） →											
会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダ/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議	リーダー/主任会議
環境整備	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除	大掃除
	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練

特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 看護課

サービス目標

- 褥瘡予防を徹底する
- 誤嚥性肺炎予防を徹底する
- 感染症（インフルエンザ・コロナ・ノロ）の拡大を防ぐ

実績目標

- 褥瘡ゼロ
- 誤嚥性肺炎ゼロ
- 感染症の集団発生ゼロ

具体的な取り組み

褥瘡予防対策の実施

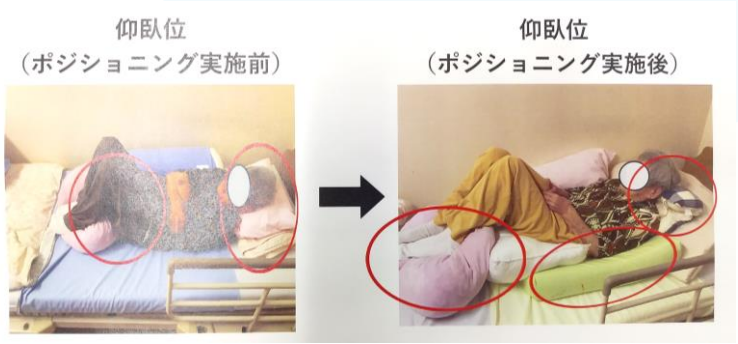
- ポジショニングやシーティングについて、介護士や機能訓練士と密に協力連携しながら実施する
- 体圧測定器や褥瘡予防マットレスを有効に活用する
- 統一したポジショニングやシーティングを行う為に、写真などで分かりやすく「見える化」を行う

誤嚥性肺炎予防の実施

- 歯科医師や歯科衛生士の助言を参考に、適切で丁寧な口腔ケアを実施する
- 利用者の嚥下状態に合わせた食事形態を提供する為、介護士や管理栄養士と日々の食事場面の観察内容を共有する

感染症拡大防止

- 利用者・職員・職員家族のインフルエンザ・コロナ・ノロウイルスの罹患情報について、看護課の職員にいち早く提供する事を全職員に徹底させる
- インフルエンザ・コロナウイルスの利用者・職員のワクチン接種を適時迅速に行う



特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 栄養課

サービス目標

- 食事提供サービスの充実
- 個々の利用者に合わせた栄養管理の実施
- 衛生管理の徹底

具体的な取り組み

食事提供サービス

- 委託業者を交えた給食会議を実施し、利用者の嗜好・意見を反映させた献立作成、祝い膳・行事・イベント食などの企画・立案に取り組む
- 5種類（普通食・一口大・キザミ・極キザミ・ミキサー）の食事形態より、利用者に適した形での提供する

栄養管理

- ミールラウンドを強化し利用者の健康状態を把握、多職種が協働して個々に見合った栄養ケアマネジメントを行う
- 個々に応じた食事形態の工夫をする

衛生管理

- 感染症予防と感染拡大時の対応を強化する
- 厨房職員への衛生指導を定期的に行う
- 厨房内清掃・消毒の徹底と衛生チェックを実施する

普通食

一口大

キザミ食

極キザミ食

ミキサー食

デイサービスセンター つどうホール

サービス目標

- クラブ活動とイベントをより充実させる
- リハビリサービスを強化する
- 認知症予防プログラムを実施継続する
- 安全で安心なサービスの提供に努める

実績目標　定員数：50名

実人数	130名
1日平均利用者数	43名（稼働率86%）

具体的な取り組み

クラブ活動とイベントの充実

- 各職員が担当するクラブ活動（書道・園芸・絵画・麻雀・創作）を継続実施する
- イベント(誕生会・季節行事等）を積極的に実施する
- 新たなボランティアの受け入れを行い、クラブ活動やイベントに参加してもらう

創作クラブ

絵画クラブ

リハビリサービスの強化

- 「つどうホールトレーニング倶楽部」を継続する
- 身体機能の評価や在宅生活での注意点を家族や担当ケアマネジャーに積極的に発信する

認知症予防プログラムの継続実施

- 大阪大学の新たな研究（生成AIを活用した新しい回想法に関する研究）に協力する
- デュアルタスクの継続実施と新たな参加者を発掘する
- 脳トレ活動の継続実施をする

安全で安心なサービスの提供

- 自動車事故や送迎抜けのミスをなくす
- 送迎サービスにおいて地域の方にご迷惑をお掛けしない
- 認知症が進行している利用者の受入れを断らない

ノルディック
ウォーキング

ストレッチの様子

グループホーム つどうホール

サービス目標

- 利用者の強みと残存機能を最大限に発揮し、身体・認知機能の維持を目指す

実績目標 定員数：９名

稼働率 100%

具体的な取り組み

利用者ひとりひとりの役割作り

- 認知症の程度や生活歴を活かした日課を考え、できる事の継続で自信を回復していただく
- 残存機能や認知機能を細やかに観察し、利用者と共に達成感を味わう事で、スタッフのやりがいに繋げる
- 読み書き計算を中心とした学習時間を確保し、認知症の進行予防を図る

積極的な行事とレクリエーションの実施

- 毎月季節にちなんだおやつ作りを実施し、家事活動から手続き記憶を引き出す
- 家族も参加できる外出機会を企画し、利用者の気分転換を図る
- 楽しい活動の中にも、認知機能を発揮できる場面作りで残存機能を活用する

地域との関係作り

- 運営推進会議を定期的に実施し、地域の方に活動内容を知っていただく
- 地域行事に利用者と参加し、顔の見える関係作りを図る

おやつレク
（白玉作り）

地域の子供との交流

クリスマス会

ケアプランセンター ささぎ

サービス目標

- 藤特、つどう両方の在宅サービス稼働率の安定
- 適切な事業運営の実施に努める
- 藤井寺市内の福祉ニーズの把握に努める

実績目標

月平均 ケアプラン作成件数	260件／月

具体的な取り組み

在宅サービス稼働率の安定

- LINEWORKSの活用、在宅会議への参加にて、つどう・藤特双方と情報共有を行う
- 毎週の情報共有会議で、自分が休みでも他のケアマネが対応できるよう、自分の担当ケース以外の利用者情報も積極的に把握する
- 事業所に足を運び利用者情報を直接伺うと共に、事業所の良いところを知り、連携を強化出来るようにする

適切な事業運営の実施に努める

- 適切な事業運営の実施に努める
- 日々の記録、加算算定に必要な書類等適切に作成されているか、書類の不備が無いようにつどうホール全部署の書類チェックを行う

地域の福祉ニーズの把握

- 藤井寺市社会福祉施設連絡会のとっくり委員会やいけネットの会合に積極的に参加し、福祉ニーズや地域資源の把握に努め、自身の支援方法に幅を持たせる

高齢者ケアセンター
大仙もずの音

- **特別養護老人ホーム 大仙もずの音**
  生活支援部介護課 ／ 看護課 ／ 訓練課 ／栄養課
- **大仙もずの音 デイサービスセンター**
- **大仙もずの音 ケアプランセンター**

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 介護課

サービス目標

その人らしい暮らしの継続支援

- 丁寧・細やかな生活援助と基本介護を最優先事項として徹底する
- 利用者一人ひとりの個性や生きがいを尊重し、生活の中で自己決定できる場面をより多く作る

実績目標 定員数：特養80名　SS20名

年間稼働率 99.0%

具体的な取り組み

認知症の理解や利用者が安心できる適切なケアを提供する

- 前年度ユマニチュードケア研修を受講した職員が中心となって、特養全体でユマニチュードケアを推進するための内部研修を行う（6月から2ヶ月ごとに開催）
- ユマニチュードケアを推進するためのモデルフロアを作り、実践できる居室環境の見直しを行う

ユニットケアを推進しその人らしい暮らしの継続を支援する

各ユニットでユニットケアを取り組み、継続して利用者が穏やかに過ごせる環境を提供する

- 24時間シートを活用し、その人の生活を知ることで個別ケアを実施する
- 新たにユニットリーダー研修を２名以上修了する

利用者へ安全安楽で過ごしやすい環境を提供する

- 自動体位交換機能付きエアマットを活用することで、介護職員の負担軽減を図りながら利用者の安眠や褥瘡予防に努める
- 自身で寝返りができない方への個別のポジショニングの選定をする
- 歩行ができない方への座位時のシーティングの選定をする

ユマニチュードケア研修の様子

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 介護課

利用者や家族が望む看取りケアの実現

- 看取りケアマニュアルをもとに、利用者の状態変化に応じたケアを実践していく
- ケアプランの更新毎に、どのような終末を望むのかを利用者・家族に確認し、利用者と家族が望む暮らしや終末を迎えることができるよう取り組む
- 食事量の低下や体調面の低下がみられた場合は、重篤になる前に主治医を交えケア内容を検討し看取りケアを実施する
- 看取りケアが終了した後、10日以内に関係する職員でエンドカンファレンスを実施し、今後のターミナルケアに繋げていく

働きやすい職場環境の実現

- 利用者の安全確保と職員の負担軽減を図るため、見守りセンサーを設置する
- 利用者の快適性と職員の負担軽減を図るため、新たな入浴機器（ミスト浴等）を導入する
- ケアカルテと手書き記録の重複など、無駄や無理がある業務の見直しや廃止を行う

植物園への外出した様子

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 介護課

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養全体行事		遠足	遠足			敬老祝賀会	遠足	遠足	餅つき	新年祝賀会	節分	
										初詣		
各フロアで行う活動	← 誕生会（該当月実施　各フロア共通） →											
	花見	テラスでの食事会 4・5階			花火	花火	秋祭り	紅葉散策	クリスマス会	七草粥		ひな祭り
	テラスでの食事会 4・5・6階			七夕					忘年会	新年会		
クラブ活動	← 書道・フラワーアレンジメント（毎月実施　各フロア共通） →											
家族交流会						近況報告手紙		2階	3階	4階 5階	6階 近況報告手紙	
環境整備	五月人形設置	衣替え	寝具入替	日除けシェード設置			衣替え	加湿器設置	クリスマスツリー装飾（1日～）		ひな人形設置	
	加湿器撤去			扇風機設置			寝具入替		正月飾り（28日～）			
							扇風機片付け					

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 看護課

サービス目標

皮膚トラブルを最小限に抑えスキンケアに努める

- 入浴後に塗布中の保湿剤の塗布を継続して行えるよう、定期的な保湿剤の購入や塗布の啓発をする
- 特に乾燥が著明に出現する冬季の保湿状況を観察する
- 昨年度は速やかに受診のできる皮膚科の開拓(大仙病院)ができたので、対応困難だと思われる皮膚病変出現時には速やかに受診を勧めていき悪化を防ぐ

▼

1. フロア職員へ軟膏塗布依頼した場合は観察日を設定し、評価する
2. 処置者のみの把握に留めず、処置部の現状態の情報共有を実施する
3. 医師報告、医師指示のもと処置を実施していく

- 昨年度は褥瘡発生が3件あったため、褥瘡高リスク者の情報を多職員間で共有し、発生予防に努める

感染予防や異常の早期発見のための啓発に努める

- 1～2ヶ月毎に全体申送り時等に看護師から感染予防の啓発機会を設ける
- 啓発のための資料やポスターの作成を行い、円滑かつ明快な情報伝達に努める
- 異常の早期発見のため、医療的注意事項があれば申送り時での伝達やケア記録に記載していく
- 看護師自身も直接利用者と関わり必ず観察機会を設定する

働きやすい職場環境作り

- LINEWORKSを活用し、看護師間の情報共有をより適切に行う
- ケアカルテと手書き記録の重複など、無駄や無理がある業務の見直しや廃止を行う

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 訓練課

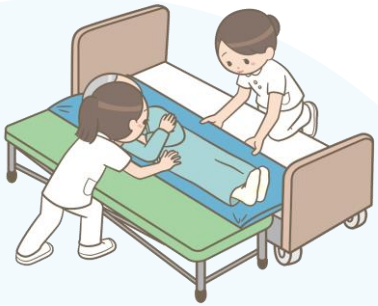
サービス目標｜特別養護老人ホーム

ポジショニング（エアマット含む）・シーティングを推進

- 写真にてスタッフにわかりやすい様に周知し、定期的に実施状況を確認
- 勉強会の開催
- 不足分のクッションを購入

リハビリ頻度増加

- 歩行練習や基本動作練習、関節可動域訓練などを実施する
- 歩行可能な方にデイサービスにて定期的に負荷の高い運動を実施する



※ノーリフティングケア資料
介護老人保健施設ピアハウス高知参照

リハビリ特化プログラム

筋力増強トレーニング

ストレッチの様子

バランスパットを使った
立位バランス

バランスボールによる
体幹強化

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 訓練課

サービス目標｜ショートステイ

個別機能訓練：希望者に実施する

風船バレーをしている様子

利用者がボールを使い、柔軟をしている様子

サービス目標｜デイサービス

いきいき長生きリハビリクラブの継続と拡充

- 実施日/場所：月～土
- 6階オキュペーショナルセラプールーム他
- 細やかなサービスを提供する為に、意見を言い合える環境を持続し、情報交換を密に行う

徒手等による疼痛治療

- 小集団では改善効果が薄いため、約4～5人/日を目途に各15分程度施術
- 新たな機器（コグニバイク等）を導入し、より効果的なリハビリテーションが行える環境を整える

ボールを使い、
足の力を強化している様子

マシーンに乗り
足の力を強化している様子

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 栄養課

サービス目標｜ショートステイ

利用者の食べたい想いを叶える

- ムースやキザミ食など外食が難しい食事形態の方でも楽しめる食事レクや、利用者の食べてみたいという希望を叶える企画、取り組みを実施していく

具体的な取り組み

食事形態関係なく、食べたいものが食べられる機会をつくる

- 介護士と調理師、栄養士が協力し、節目の誕生日を迎える方の食べたいものや思い出の味を提供していく
- 年間で5人実現できるように、実施していく
- 家族とともに食事ができる機会を設ける

提供している食事の事例

キザミ食

ムース食

デミカツ丼

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 栄養課

具体的な取り組み

人材交流を実施する

- 栄養士同士の会議、実習生の受け入れを行い、交流を広げながら個々の知識や指導力を伸ばしていく
- 藤井寺特養の調理師と交流する機会を設け、お互いの業務見直しや技術力の向上に取り組んでいく

宅配弁当サービスの実施

- デイ、ショートステイ利用者を対象にした宅配弁当サービスを検討する

コスト削減

- 廃棄を減らす、材料の変更を行うなどを行い、美味しさを追求しながらコスト削減に取り組んでいく
- 作業の効率化のために新たな食材や機材の導入を検討していく

目前調理
ハンバーグを提供している様子

目前調理
焼肉を提供している様子

大仙もずの音 デイサービスセンター

サービス目標

- 『ニーズごちゃまぜデイサービス』をモットーに、様々なニーズの利用者が笑顔になれるサービスを提供していく
- 利用者が役割を持ち、他利用者や職員と共に主体的な活動ができるよう支援する

実績目標　定員数：45名

年間稼働率 85.0%

1日平均利用者数	38.3名（稼働率85%）

※令和7年度は通常規模　令和8年度から大規模Ⅰを目指す

年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
実績／日	36.5	37.0	37.5	38.0	38.5	39.0	39.5	40.0	39.0	38.0	37.5	38.5	38.3
実人数	114	116	118	120	121	122	123	124	122	120	118	121	119.9

具体的な取り組み

様々なニーズに積極的に対応していく

- 「短時間の利用がいい。入浴のみ利用したい。入浴と食事がしたい。リハビリだけ受けたい」等、ライフスタイルに合わせた様々なニーズに柔軟に対応していく
- かかりつけ医との連携を密にし、医療的ニーズに対応していく

質の高い認知症ケアの実践と認知症予防活動の継続

- ユマニチュードケアを実践し、認知症の利用者に安心を覚えていただく
- 認知機能維持に繋がるよう脳トレ活動・歩容活動を継続し、健康で末永く在宅生活を送っていただけるよう支援する
- 歩容活動は参加者20名を維持する

大仙もずの音 デイサービスセンター

アクティビティ・リハビリテーションの充実

- 利用者が、好きな時に好みの活動をご自身で選び、実施できる環境を整える
- 新たなレクリエーションを立案、実践する
- 給食部と共同し、食事イベントを毎月開催する
- 『いきいき長生きリハビリクラブ』（リハビリ特化プログラム）を継続し、運動ニーズの高い利用者の身体機能の維持、利用者の満足度の向上、新規利用者の集客に繋げる（現在の月火木金開催から、週6日開催を目標とする）
- コロナ禍前に実施していた世代間交流を再開する
- 1on1保育園や大仙保育園、大仙小学校等、地域との交流イベントを、窓口担当者を配置し実施する
- 新たなボランティアさんの受け入れを積極的に行い、利用者の楽しめる機会を増やす

利用者（家族）に信頼されるデイサービスを目指す

- 丁寧な声掛け、丁寧な介助を徹底して行っていく

ボランティアによるフラダンスを披露

利用者と園芸を楽しむ様子

大仙もずの音 デイサービスセンター

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事イベント	・花見 ・春の運動会	・端午の節句 ・テラス食事会 ・母の日イベント	父の日	・七夕 ・流しそうめん	ビアガーデン	敬老祝賀会	秋の運動会	秋祭り	・クリスマス会 ・忘年会	・新年会 ・初詣 ・初釜	・節分 ・おやつレク	・ひな祭り ・食事イベント
イベント風呂	桜風呂	菖蒲湯	どくだみ湯	もも湯（葉）	ハッカ湯	菊湯	生姜湯	みかん湯	ゆず湯	松湯	大根湯	よもぎ湯
食事関係	春のお茶会	お好み焼き	タコ焼き	流しそうめん	屋台	敬老祝い膳	キッチンカー	・屋台 ・焼芋作り	忘年会（鍋）	・新年会 すきやき・鍋 ・七草粥	恵方巻	ひな祭り膳

大仙もずの音 ケアプランセンター

サービス目標

- 次世代育成
  ～ケアマネという仕事を知ってもらう～
- 事業所内連携強化
  ～担当外利用者の緊急対応ができるチーム作り～
- 地域活動強化
  ～地域における社会福祉法人としての役割を担う～

実績目標

ケアプラン件数及び自法人サービス	160件／月
デイ	50%
ショートステイ	12%

具体的な取り組み

ケアマネ業務、社会貢献事業活動の認知を広げる

- ケアマネを目指す職員や興味があるという職員に対して、ケアマネ業務や社会貢献事業活動・地域との関わりなどを体験してもらう人材交流の機会を作る

書類整備を標準化し情報共有を円滑にする

- ケースファイル書類一式をチェックする機会を作り、必要書類が作成されているか、アセスメントや支援経過で利用者の現状が把握でき、緊急時等に誰もが情報収集できる書類が作成されているかを定期的に確認する

しあわせネットワーク事業（総合相談事業）の代表施設の役割を果たす

- しあわせネットワーク事業は、これまで大阪府社会福祉協議会の支援員が中心となってが実施されてきたが、令和6年度より各区の社会福祉法人等が中心となって活動が行われていくことなったため、令和7年度は大仙もずの音が堺区の代表施設として活動の中心となっていく

介護予防教室を広げる

- 介護予防教室を通じて、地域、施設との繋がりを作り、顔の見える関係性を作っていく

北第１地域
包括支援センター

北第１地域包括支援センター

サービス目標

- 地域包括支援センターを市民へ周知する
- 認知症に対する市民の理解を深める
- フレイルを予防し、健康寿命を延伸する
- 権利擁護について啓発を行う
- 圏域のケアマネジャーの質を向上させる

具体的な取り組み

総合相談支援

- 認知症サポーター養成講座を開催する

  対象：金融機関、小学校

  毎年、全小学校で定期開催できる流れを確立する
- 月１回、イオンにおける「まちかどつながり相談室」の開催を継続していく
- 地域の集いの場に参加し、随時相談に対応していく
- 地域のネットワークを強化し、様々な機関との連携を深めていく

北第１地域包括支援センター

総合相談支援

- 地域の集いの場（現在13箇所）に参加し、介護予防の普及啓発を行う
- 自主的に継続できる動機付けに力を入れ、健康教育、運動、脳トレ等を行う
- 地域の集いの場に参加し、随時相談に対応していく
- 地域のネットワークを強化し、様々な機関との連携を深めていく

権利擁護

- 年１回、ケアマネ・サービス事業所向けに虐待予防研修を開催する
- 虐待通報があれば早急に対応し、高齢者の権利を守る措置をとる
- 地域の集いの場に参加し、特殊詐欺被害防止の啓発や、成年後見制度の普及啓発を行う

包括的・継続的ケアマネジメント支援

- 年２回、圏域ケアマネ事業所に対し、交流会・勉強会を開催する
- 困難事例において、随時後方支援を行う

One On One

ワンオンワン ほいくえん

1 on 1 保育園

サービス目標

- 小規模で家庭的な環境を作り、安全を最優先した保育を提供する
- 保護者との連携を密にとり、一人ひとりの発育に応じた保育計画を立てる
- 散歩を保育の基本とし、遊びの中での経験や感じたこと、地域の方とのふれあいで一人ひとりの心と体の成長を育む

実績目標　定員数：12名

年間平均園児数	9.8名/月
開園区分	6日 以上

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
開園区分	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	ー
0歳児	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	26
1歳児	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	44
2歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	8	8	8	8	10	10	11	11	11	11	11	11	118

1 on 1 保育園

具体的な取り組み

自園庭砂場遊び

- 高齢者ケアセンター大仙もずの音３Fテラスでの砂場遊びを積極的に取り入れる
- 身体機能の向上だけでなく集中力や忍耐力、社会性と協調性を育む
- 大仙もずの音の高齢者と触れ合う

豊かな身体感覚を養い一生の土台となる身体を作る

- 散歩を日々取り入れ、自然に触れる機会を多くする
- 知育玩具を取り入れ子どもの好奇心を刺激し遊びながら知力を育めるよう室内環境を整える

保育園独自の管理栄養による献立の作成

- 食べる達成感や充実感を味わい楽しく食べる
- 知育玩具を取り入れ子どもの好奇心を刺激し遊びながら知力を育めるよう室内環境を整える

安全な保育の提供

- 緊急時の対応（救命救急、乳幼児突然死症候群（SIDS）防止に関する学習会を定期的に実施する
- 主要感染症の学習会を毎月実施し、日々の予防策を徹底し、体調変化の早期発見に努める
- 地域の集いの場に参加し、随時相談に対応していく
- 主要感染症の学習会を毎月行い、日々の予防策を徹底し、体調変化の早期発見に努める

保護者支援

- 子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられる支援をする
- 多様化している家族への理解（外国籍家庭への配慮と支援やコミュニケーション）をする

風通しの良い職場環境づくり

- 会話を大切にする
- 人と尊重する
- 気持ちを聴く
- 自己決定を尊重する
- 相手に寄り添う
- 感謝をする

1 on 1 保育園

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児 行事予定	・花見散歩 ・誕生会	・端午の節句 ・誕生会	誕生会	・七夕祭り ・誕生会	・夏祭り ・誕生会	・保護者参加保育 ・誕生会	・ハロウィン ・お芋掘り ・誕生会	・紅葉散策 ・保護者参加保育 ・誕生会	・クリスマス会 ・誕生会	・正月遊び ・誕生会	・節分 ・誕生会	・ひな祭り ・卒園・ 修了の集い ・誕生会
職員 学習会	・職業倫理 ・法令順守 ・苦情受付 ・苦情対応	・事故防止 （午睡・散歩） ・新型コロナウイルス ・感染症対策	・熱中症対策 ・食中毒 感染症対策	・AED 緊急時対応 ・虐待防止	・事故防止 ・RSウイルス ・感染症対策	・保護者対応 ・各種アレルギー 基礎理解	・保育技術 ・インフルエンザ感染症対策	・事故防止 ・手足口病 感染症対策	ノロ・アデノウイルス 感染症対策	風疹 感染症対策	・事故防止 ・虐待防止	・保育技術 ・溶連菌 感染症対策

ソーシャル
リレーション事業

ソーシャルリレーション事業

Our Mission

HOT

**これまで培ってきた専門性と地域との関係性を土台とし、
制度の狭間にある課題に向き合い、
人と制度、人と人、人と地域を繋いでいきます**

Creation

地域共生社会の実現に向けて

地域・行政・社会福祉協議会・民生委員児童委員・企業・NPO
学校関係者・学生等と協働し、地域課題に目を向け解決する

総合相談支援

- 社会の課題（格差問題、貧困問題、介護、DV、虐待、こどもの孤食、家庭内暴力、ひきこもり、ヤングケアラー・不登校等）に対し、ソーシャルリレーション推進室のソーシャルワーカー（社会福祉士等）が中心になり、どのような相談事もたらい回しにしないことをモットーにソーシャルワーク活動を行う

無料低額宿泊事業

- 住宅に困っている緊急を要する生活困窮者に対して、社会福祉法に基づく福祉サービスの基本理念に則り、無料又は低額で居室を貸し付け、又は宿泊所その他の施設を利用してもらい、自立した生活に向けて生活支援や就労支援を行う

居住支援法人

- 居住支援法人とは、住宅セーフティネット法に基づき、居住支援を行う法人として、都道府県が指定するもの
- 都道府県は、住宅確保要配慮者の居住支援に係る新たな担い手として指定することが可能

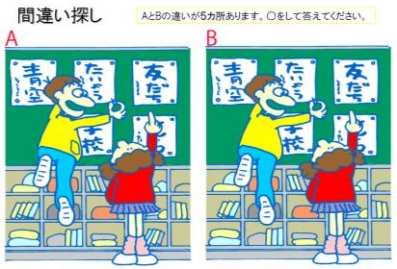
※住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給促進に関する法律第40条に規定する法人

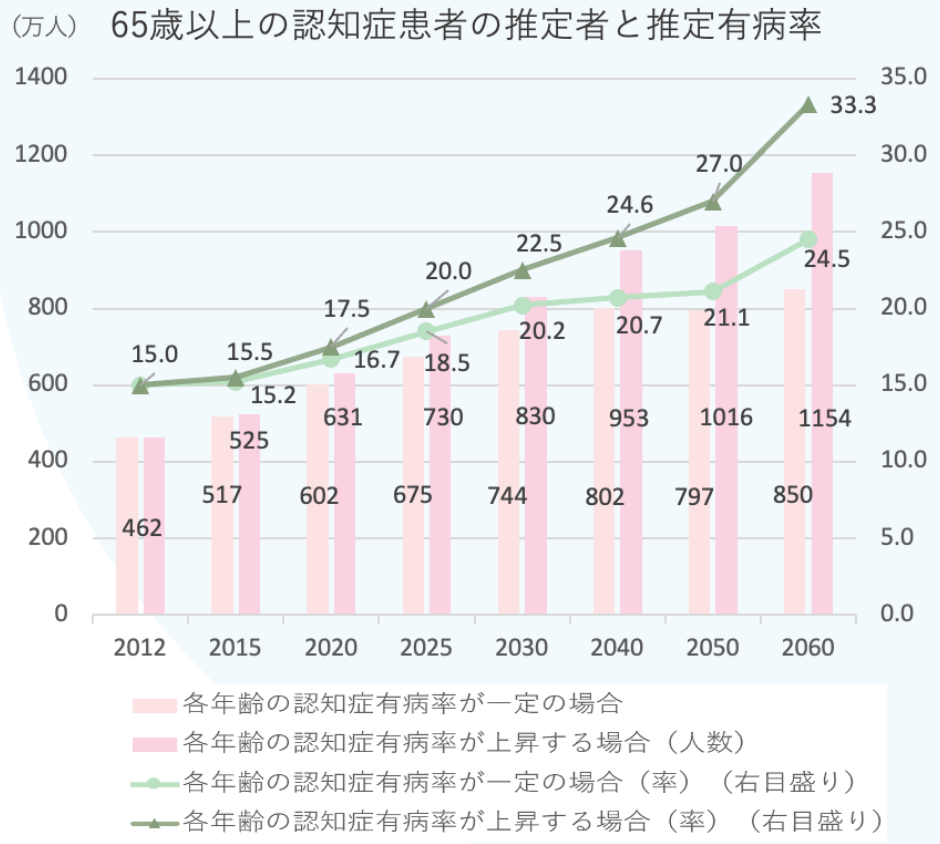
厚生労働省HP：居住支援法人制度の概要参考

ソーシャルリレーション事業

脳トレ

- 対象者：デイサービス利用者
- 参加人数：180名程／月
- 考える力や集中力を養うために、“読み・書き・計算”等の認知機能トレーニングを継続して実施する





「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」
（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業　　九州大学二宮教授より内閣府作成）

ソーシャルリレーション事業

デュアルタスク歩容調査研究

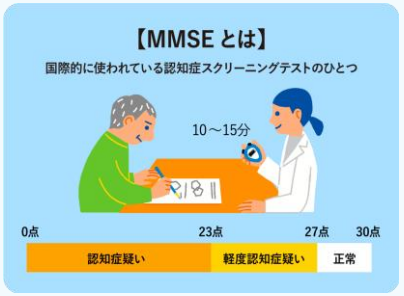
- 対象者：デイサービス利用者
- 参加人数：60名程／月
- 目標：100名／月
- 足踏みゲーム
- デュアルタスク歩容調査：大阪大学八木康史教授方との共同研究である高齢者歩容解析に関する研究にて、各施設デイサービスセンターに常設の歩容測定機器を設置、計算課題と歩行を同時に行う
- 認知症予兆検知だけでなく、転倒予防の検知を行う
- 転倒予防の指標として、TUG、片足立ち、握力測定を行う

※TUG：Timed Up & Go Test
歩行能力や動的バランス、敏捷性などを総合的に判断するテストのことであり、高齢者の歩行速度、椅子からの立ち上がり、方向転換の機能を評価する方法。

期待：二つの情報を処理することで、脳に刺激が与えられ，認知機能の活性化に繋がると考えられる

デュアルタスク歩容調査研究

- AIが歩容から判断したMMSEと実際のMMSEで乖離のあった事例を重点的に調査し、因果関係を調べる



『LIFULL介護参照』

デュアルタスクをしている様子（藤特）

デュアルタスクをしている様子（大仙）

ソーシャルリレーション事業

デリバリー型介護予防教室

- 対象者：藤井寺市、堺市在住の地域住民
- 実施場所：各地区の集会所や地域会館
- CM・介護士・機能訓練指導員・NS・管理栄養士が中心となり取り組む
- ホームページ上に脳トレ掲載（例：スマート神戸）

A） 転倒予防体操

B） 思考活動（潤脳活動）

C） 潤脳講座

D） デュアルタスク課題

E） 集団アクティビティ

期待：認知症・フレイル予防、社会参加活動

	地　区	担　当	開　催　月（予　定）							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	南藤井寺（第2水曜）	藤井寺	○				○			
2	藤ヶ丘１・２丁目	藤井寺	○				○			
3	藤ヶ丘西	藤井寺			○				○	
4	さくら町（第2土曜）	藤井寺		○				○		
5	春日丘新町（第２木曜）	藤井寺			○				○	
6	陵南町（第３土曜）	藤井寺		○				○		
7	藤井寺	藤井寺			○				○	
8	野中	藤井寺				○				○
9	東藤井寺（第2土曜）	つどう				○				○
10	御舟町	つどう		○				○		
11	川北	つどう		○				○		
12	川北老人会	つどう			○				○	
13	大井	つどう	○				○			
14	西小室1丁目	つどう	○				○			
15	小山藤美町	つどう				○				○
16	堺区9班（第2木曜）	堺		○				○		

ソーシャルリレーション事業

こども食堂『坂の上のキッチン』

［ みんなの居場所作り］

- 対象者：こども中心（どなたでも参加OK）
- 参加人数：35名程／1回
- 開催頻度：月1回（第3日曜日）
- 開設時間：11：30～15：00
- 内容：ワクワク体験

ソーシャルリレーション事業

福祉教育

- 対象者：近隣の小学校
- 実施場所：近隣の小学校

  A)　車いす体験

  B)　高齢者体験

  C)　ブラインドウォーク

  D)　認知症について

期待：学びを通じて、地域の中の多様性に気づき、「福祉」を「暮らしのなかの一部分」「我がこと」と捉え、自分が住んでいる地域に関心を持つきっかけを作る

車椅子

高齢者体験

ブラインドウォーク

福祉授業を実施する背景

- 以前以上に核家族化が進み、地域内でのコミュニケーションが減少している日本において、高齢者への理解や繋がりが減少している
- その様な中でみささぎ会では、福祉授業として「高齢者疑似体験授業」や「視覚障がい者とは」といった、体験形式で理解をし、知識として蓄積させることを働きかける仕組みづくりをしている

ソーシャルリレーション事業

地域防災力向上

- DWAT隊員としての経験を活かし、地域防災力向上に向けた取り組みを行う
- 地区防災訓練やDWATの研修に参加
- 親子で防災教室等防災についての企画・実践

- イケねっと！防災チームへの参加

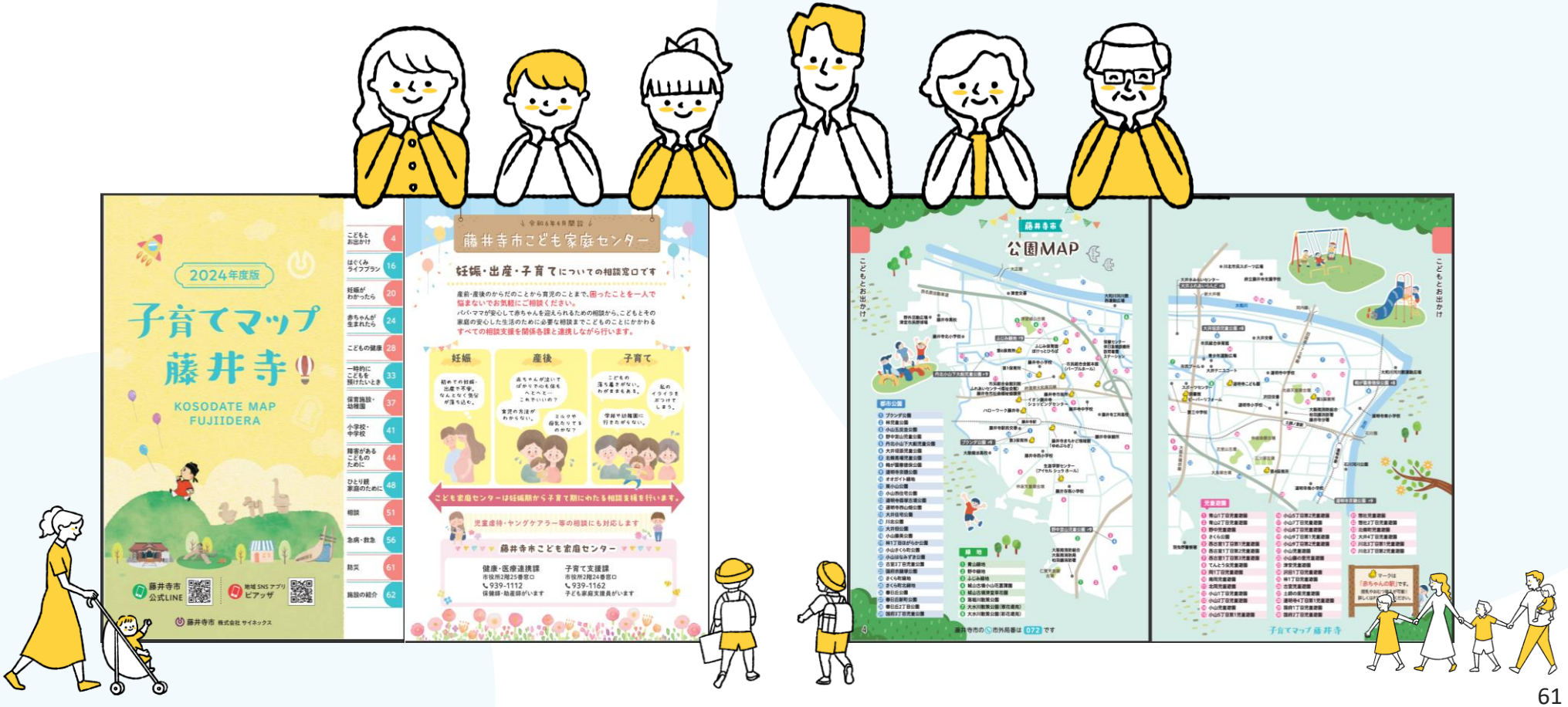
買い物困難者支援

- NPO・大阪いずみ市民生活協同組合・地域と連携しルート変更・追加等調整

ソーシャルリレーション事業

子育て支援

- 子育て応援ヘルパー（藤井寺市委託事業）
- こども未来部・保健師・助産師等と連携、ニーズに応じて自費のサービスを実施



ソーシャルリレーション事業

協働実践

- 民生委員児童委員ー入居者との交流会・マルシェ開催（8月）
  ※民生委員の取り組みを市民に知ってもらう
- 藤井寺母子寡婦福祉会（ひとり親世帯等食材支援事業）
  ― 食品等受け渡し所・物品運搬等の協力
- ふじいでら子ども食堂ネットワーク
  ― 子ども食堂の課題共有・情報発信・イベント開催等
- ふじいでら子ども子育て連絡会
  ― 子育て応援冊子第２弾製作

- 保健所、保健師によるこんにちは赤ちゃん訪問事業後の相談、連携
- 企業、NPO、自治会、学生
  ― 食育・体験格差解消・夏休み等の学習支援・
  イベント開催時の協賛・協力等
- 教育委員会、不登校、朝ごはん欠食問題、障がい者の理解等

ソーシャルリレーション事業

各大学とのコラボレーション

各大学と提携し、各々の特性や強みを活かすことで地域社会へと貢献していく
これらの活動を職員教育に結びつけ、サービスの品質向上を目指す

社会福祉法人 みささぎ会

学校法人 玉手山学園 関西福祉科学大学

リスクマネジメント研究

安全管理対策向上に向けて
インシデント・アクシデント
報告書を活用した研究に協力

社会福祉法人 みささぎ会

龍谷大学

大学院リカレント教育

学校教育から離れた後も仕事で求められる能力を磨き続けられるよう、学びなおしを応援するため大学院との包括協定の締結

社会福祉法人 みささぎ会

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

認知症予防研究

VR、デュアルタスク歩容機を用いた認知症予防開発システムへの貢献

ソーシャルリレーション事業

各企業とのコラボレーション

様々な企業と連携することで、地域活性化や職場環境向上を目指す

社会福祉法人 みささぎ会

SEIDANREN 生団連

地域企業と社会貢献のコラボ

企業CSRと連携し、地域活性化、地域福祉向上を目指す

社会福祉法人 みささぎ会

ZENSHO すき家 SUKIYA

地域密着型「食のインフラ」とコラボ

地域交流を深めているゼンショーホールディングスのすき家とこども食堂をコラボすることで、地域活性化に繋げる

社会福祉法人 みささぎ会

CARE CONNECT JAPAN

介護ソフト会社と職場環境向上研究をコラボ

業務効率化だけでなく、職員特性ベクトル調査による働きやすい職場環境づくりを目指す

PROGRAM

04
スキルアッププログラム
Skill Up Program for Staff

学習計画

『啐啄同時』

そったくどうじ

師匠が弟子に知恵の伝達を行う際の禅語です。
啐啄同時とは、鳥の雛が卵から産まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時、それを聞きつけた親鳥がすかざず外からついばんで殻を破る手助けをすことを意味します。
これが「啐」と「啄」の関係です。
互いが響同＝協同し合った時、新しい何かが誕生するのです。

学習の目的

志を抱き、自らの理想のためにはどのような境遇もいとわぬ人物となるための成長の機会を提供することを、当法人における学習の目的とします。専門的な知識と技術を習得するのみならず、品性や感性を磨き、利用者や地域社会に貢献できる人材を育みます。職業人として、そして自分自身の生活がより豊かな日々になるように自己研鑽に努めましょう。

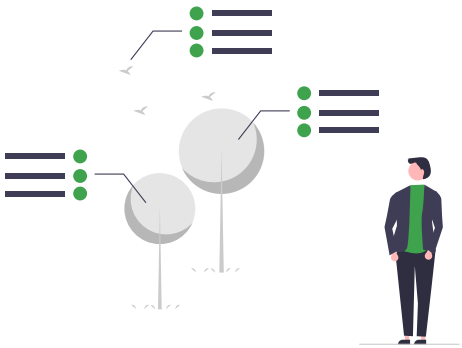
機会の提供

年齢、キャリア、資格、職種、生育歴、国籍等々、多様な人材が働く福祉現場において、一律な学習の機会ではなく、個々の意思や意欲・状態に応じた学びの機会を提供していきます。

学習計画　今年度の目標

ラーニングピラミッド

学んだことを実践や検証し、他者へ教え説明することで、より効果的な学習を目指します。



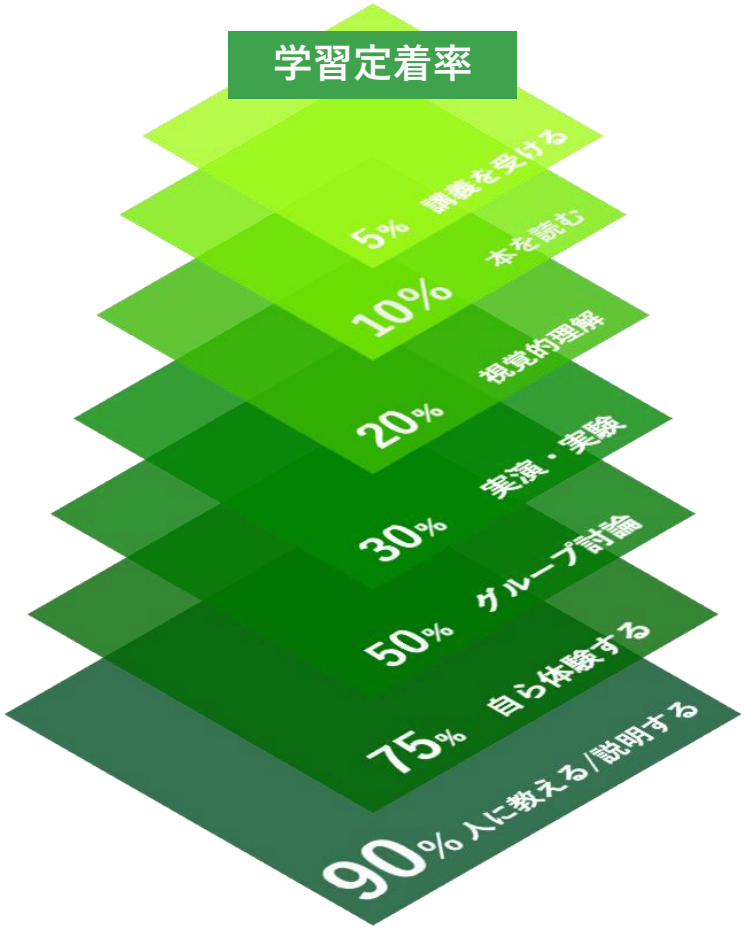
学習制度体系化

3つのカテゴリーに分けた学習制度を体系化します。

① キャリア別

② テーマ別

③ 役職別



新たなキャリア形成をサポート

学習による知識の定着化のため積極的にサポートします。

① 介護福祉士や介護支援専門員試験の合格者を増やす

② 法人内講習会の実施

③ 外部模擬試験の積極的活用

学習計画 01

キャリア別学習内容
（正規職員対象）

鼎縁　現状と未来の共有

- コロナ以降の劇的な社会環境の変化に対し、法人としてスピード感を持った対応が必要です。そんな状況だからこそ法人理念やあり方、課題やビジョンを共有し、理事長の想いを直接伝える機会を設けます。

- ケアの哲学やその人らしさの探究、組織マネジメント、対峙力向上などをグループワークを通じ学びます。時間外での実施となるため時間外手当や夜ご飯の手配なども行います。

組織の成功循環モデル

GOOD CYCLEは**関係の質**からはじまり**BAD CYCLE**は**結果の質**からはじまる

関係の質

① 互いに尊重し、結果を認め、一緒に考える
⑤ 信頼関係が高まる

② 対立が生じ、押し付け、命令・指示が増える
⑥ 関係がより悪化する、なすり合い、自己防衛

結果の質

④ 成果が出てくる

① 成果・業務が上がらない
⑤ さらに成果が上がらない

思考の質

② 気付きがあり、共有され、当事者意識を持つ
⑥ もっといいアイデアが生まれる
③ 創造的思考がなくなる、受け身で聞くだけ

行動の質

③ 自発的・積極的にチャレンジ・行動する

④ 自発的・積極的に行動しない

学習計画　01　キャリア別学習内容（正規職員対象）

経験	期待像	到達目標	内部研修	外部研修（技能系）	外部研修（マネジメント系）
1年目	【技能】 ・通常業務ができる人 ・社会人として礼儀正しく行動できる人	・社会人としての基本マナーを身に付ける ・専門職としての基本技術を身に付ける	・法人理念研修 ・新人研修	・サービスマナー研修 ・認知症基礎研修	
2年目	【技能】 ・通常業務ができる人 ・チューターとして後輩と関われる人	・社会人としての基本マナーを身に付ける ・専門職としての基本技術を身に付ける ・１年目職員の面倒を見ることができる（チューター）	・法人理念研修 ・フォローアップ研修 ・チューターミーティング	・喀痰吸引研修（介護福祉士取得者）	
3年目	【技能】 ・通常業務以外の緊急時への対応など応用できる人 ・チューターとして後輩と関われる人	・専門職としての基本・応用技術を身に付ける ・１年目職員の面倒を見ることができる（チューター）	・法人理念研修 ・フォローアップ研修 ・チューターミーティング	・喀痰吸引研修（介護福祉士取得者） ・介福実務者研修（介護福祉士受験見込者） ・認知症介護実践者研修（経験2年以上）	
4年目	【技能】 ・新人職員を指導できる人 【マネジメント】 ・サブリーダーや委員長などの小チームをマネジメントできる人	【技術】 ・新人職員への指導力を身に付ける 【マネジメント】 ・リーダーシップの基本を理解する	・法人理念研修 ・世代別学習会 ・FasH（リーダー学習会）	・喀痰吸引研修（介護福祉士取得者） ・介福実務者研修（介護福祉士受験見込者） ・認知症介護実践者研修（経験2年以上）	・リーダー養成研修 ・介護福祉士実習指導者講習会
5年目	【技能】 ・新人職員や実習生を指導できる人 【マネジメント】 ・役職者（GL・SL）としてチームをマネジメントできる人	【技術】 ・職種、役職ごとの専門性を身に付ける 【マネジメント】 ・リーダーシップの基本を理解する	・法人理念研修 ・世代別学習会 ・FasH（リーダー学習会）	・介護福祉士実習指導者講習会 ・認知症実践者研修	・リーダー養成研修 ・介護福祉士実習指導者講習会 ・ユニットリーダー研修
6年目以降	【技能】 ・最新かつ高度な専門職としての知識や技術力をもち実践や指導ができる人 ・学習会講師ができる人 【マネジメント】 ・役職者（GL・主任）としてチームをマネジメントできる人	・職種・役職ごとの専門性を高める ・大人数の職員に技術や知識を体系化して伝えることができるようになる ・リーダーシップの基本を理解する	・法人理念研修 ・世代別学習会 ・FasH（リーダー学習会） ・内部学習会講師	・他施設との人事交流 ・全国、大阪府内研究発表大会 ・介護機器展	・ユニットリーダー研修 ・認知症介護実践リーダー研修（経験5年以上） ・認知症介護指導者養成研修（経験5年以上）

学習計画　01　世代別学習内容（4年目以上の正規職員対象）

目的	内容	対象年齢 20	25	30	35	40	45	50	55	60
年長者の理解	• グループワーク 課題図書を要約発表	■	■	■	■					
自己覚知	• ミツカリ • FFS理論による自己理解 • 自分史			■	■	■	■			
若者の理解	• グループワーク 課題図書を要約発表 （例：『先生、どうか皆の前でほめないでください。いい子症候群の若者たち』）					■	■	■	■	■

FFS理論とは：チームを編成するにあたって、そのチームの個々のメンバー特性を理解したうえでそれぞれのメンバーが持つ強みや弱みを客観的に把握する手法

学習計画　02　テーマ別学習内容　年間予定

	開催回数／年	対象部署	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
虐待防止	2	全部署												
事故発生防止	2	全部署				KYT訓練						安全運転講習		
感染症予防対策（BCP）※座学	2	全部署			食中毒						ノロウイルス			
災害時対策（BCP）※座学	2	全部署						台風				地震		
人権擁護（身体拘束防止）	1	全部署												
人権擁護（個人情報保護）	1	全部署												
人権擁護（ハラスメント防止）	1	全部署												
ユマニチュード	1	全部署	各施設でユマニチュード４日間実践者養成研修会を実施（IGM-Japon合同会社）											
看取りケアとオンコール体制	1	特養・GH・看護												
喀痰吸引	1	特養・GH・看護												
褥瘡予防	1	特養・GH・看護												
ベストチャレンジアワード	1	エントリー制							ベスチャレ2025		堺市実践研究発表大会		高齢者福祉実践・研究大会	
ケアマネ受験対策講座	5	希望者												

学習計画　03　役職別学習会（正規職員対象）

	目的	対象者	内容	実施者
FasH リーダー学習会	次期役職者を養成する	・グループリーダー ・サブリーダー	・リーダーシップ論 ・チームマネジメント ・スピーチトレーニング	運営推進メンバー
マネジメント	組織の質を高める上でのマネージャーの役割を認識を揃える	役職者	組織の成功循環モデル	理事長
NVC ノン・バイオレント・コミュニケーションスキル	互いを認め合い思いやる考え方を学び、関係性の質を高める	・リーダー以上の役職者 ・エントリー制	・NVCの理解 ・実践と振り返り	外部講師
AI合宿 アプリシエイティブインクワイヤリー	個人や組織の真価を発見し、対話から組織作りを進める	・次長、主任 ・グループリーダー ・サブリーダー	・1泊2日合宿研修	外部講師
人事交流	他施設（法人内外）での職場体験を通じて、人脈形成やサービスの質向上を図る	・グループリーダー ・サブリーダー ・一般職　※エントリー制	・他施設への人材派遣（5日間程度）	施設長

学習計画　03　キャリア別・役職別　内部学習年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	新人研修（前半）	新人研修（中）	新人研修（後半）		実技①		ベスチャレ2025		救命救急			実技②
2年目			チューターミーティング①		フォローアップ研修①		ベスチャレ2025	チューターミーティング②	フォローアップ研修②			チューターミーティング③
3年目			チューターミーティング①	フォローアップ研修①			ベスチャレ2025	チューターミーティング②			フォローアップ研修②	チューターミーティング③
4年目以降					世代別学習会（若者の理解）			世代別学習会（自己覚知）			世代別学習会（年長者の理解）	
FasH		①		②		③		④		⑤		⑥
NVC			通年（大仙もずの音）									
AI合宿								藤特1泊2日				
人事交流			大仙もずの音	藤井寺特養	つどうホール	大仙もずの音	藤井寺特養	つどうホール	大仙もずの音	藤井寺特養	つどうホール	

学習計画

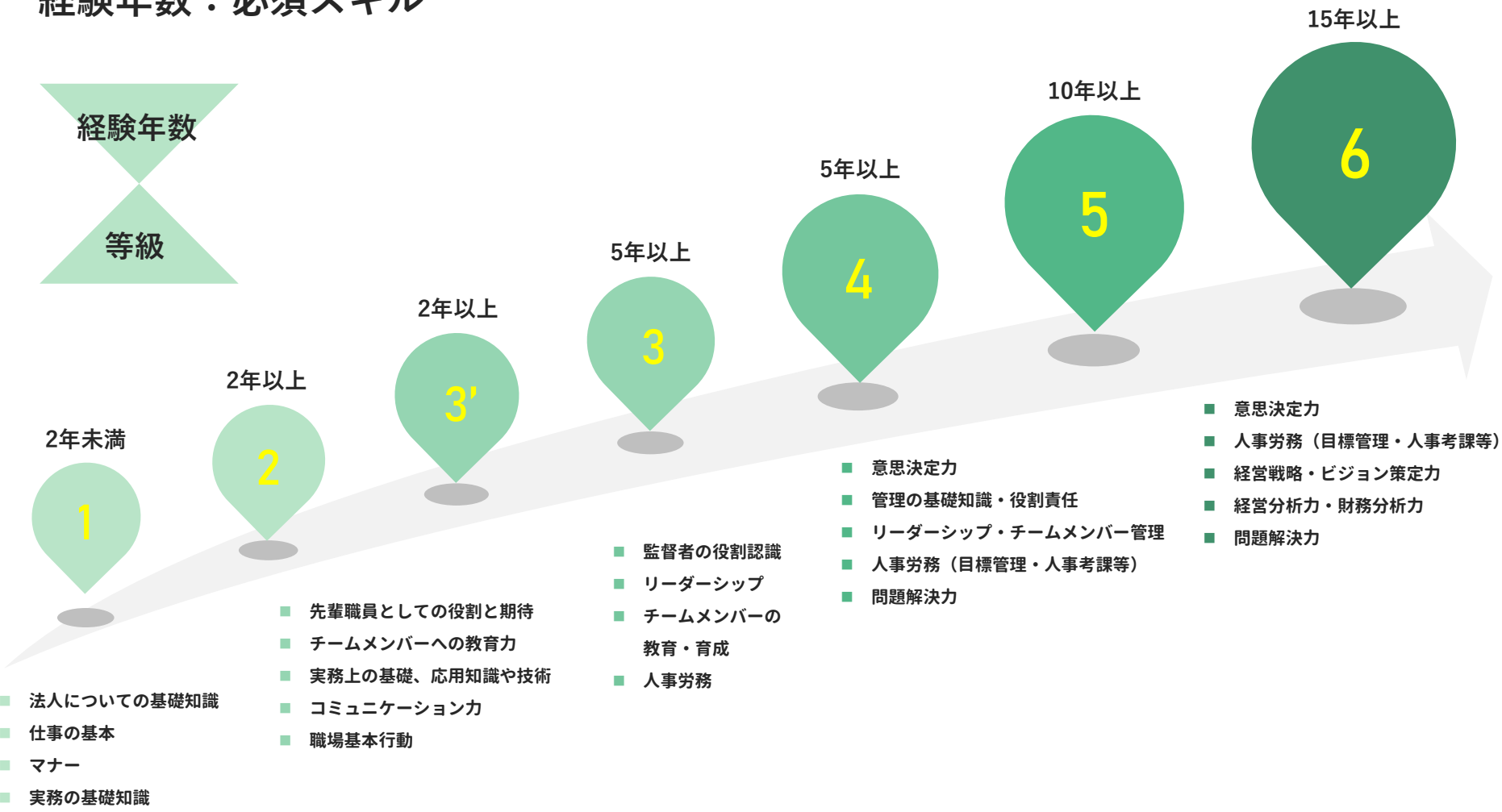
奨励する資格取得及び研修受講

研修名	目標人数	理由
認知症基礎研修	ー	介護系の資格なしの介護職員は必須
介護福祉士実務者研修	ー	介護福祉の受験要件
認知症介護実践者研修	各施設2名以上	（デイ）認知症加算の要件
認知症介護実践リーダー研修	各施設1名以上	認知症チーム推進加算（Ⅱ）の要件
認知症介護指導者養成研修	ー	認知症チーム推進加算（Ⅰ）の要件
ユニット管理者研修	大仙拠点のみ 1名以上	ユニット型特養に1名配置を奨励
ユニットリーダー研修	大仙拠点のみ 2名以上	ユニット型特養に２名以上必置
介護職員喀痰吸引研修	各施設1名以上	夜勤配置加算（Ⅱ）の要件
喀痰吸引指導看護師養成研修	各施設1名以上	施設内実地研修を担当
介護福祉士実習指導者講習	各施設1名以上	実習生受入要件
社会福祉士実習指導者講習	各施設1名以上	実習生受入要件
防火管理者講習甲種	各施設1名以上	30人以上の老人ホームに必置
衛生管理者2種	各施設1名以上	50～200名の職場に１名以上必置
感染症研修会	各施設1名以上	感染症加算の要件　毎年１名以上受講が必須
安全管理者研修会	各施設1名以上	安全加算で必須
人権保護に関する研修会	各施設1名以上	虐待防止対策で奨励

05
キャリアパス
Career Path

キャリアパス

経験年数：必須スキル



キャリアパス

経験年数：等級別必須スキル

1 初級・一般職	2 熟練・サブリーダー	3’プロフェッショナル	3 グループリーダー
実務者研修	社会福祉士	社会福祉士	社会福祉士
初任者研修	介護福祉士	介護福祉士	介護福祉士
保育士	保育士	保育士	保育士
			介護支援専門員
・社会人、組織人としての基礎を学ぶ ・マニュアルに基づく業務遂行を行なうこと ・担当部署内の利用者、家族の満足度を高めること	・専門性を高め、利用者に最善のサービスを提供するマニュアルに基づく業務遂行を行なうこと ・担当職務の業務改善を提案・実行すること ・グループリーダー・園長を補佐すること	・優秀なプレーヤーになる ・卓越した知識・技能を高める ・業務上の問題点に速やかに対応すること ・新人や実習生の教育を行うこと	・フロア（園）の目標を達成する ・プレイングマネージャーになる ・同僚と協働して成果を出す ・担当職務の計画立案、実施指導ができること

キャリアパス

経験年数：等級別必須スキル

	1 初級・一般職	2 熟練・サブリーダー	3' プロフェッショナル	3 グループリーダー
OJT	■ 報告連絡相談 ■ 経験、動機づける、伝える ■ 内省力 ■ 各習慣（介護記録、メモ） ■ ユマニチュード	■ 報告連絡相談 ■ 経験、動機づける、伝える ■ 課題分析 ■ 洞察力 ■ ユマニチュード	■ 報告連絡相談 ■ 経験、動機づける、伝える ■ 課題分析力 ■ 洞察力 ■ ユマニチュード	■ 報告連絡相談 ■ 経験、動機づける、伝える ■ 課題解決思考力 ■ 後輩指導 ■ ユマニチュード
OFF JT	■ 新人研修 ■ サービスマナー研修 ■ 保育士初任者研修会	■ 認知症実践者研修 ■ スキルアップ学習会 ■ 保育士キャリアアップ研修会（中堅職員）	■ 認知症実践者研修 ■ ステップアップ学習会 ■ 保育士キャリアアップ研修会（中堅職員）	■ FasH（リーダー学習会） ■ ユニットリーダー研修 ■ 認知症実践者研修 ■ 海外福祉施設視察 ■ 全国保育士キャリアアップ研修
自己啓発	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度

キャリアパス

経験年数：等級別必須スキル（管理職）

4 管理中級／室長・主任

- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 介護支援専門員

- 部署（課）の目標を達成する
- やり方を変える・成果を出す
- チームメンバーに任せ成果を出す
- 事業計画を策定・実行する
- 中心となって問題解決に導く
- サービスレベルを向上させる
- チームメンバー育成・士気を高める
- 他部署との調整や連携を取る

5 管理上級／次長

- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 保育士

- 施設の目標を達成する
- マネージャーになる
- チームメンバーを育て、モチベーションを高める
- 施設の業績達成に取り組む
- 施設長を補佐すること

6 経営幹部／施設長

- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 保育士
- 介護支援専門員

- 施設の事業計画を立案、統括責任を負う
- 中・長期経営計画の立案、統轄を行う
- 法人の予算管理、利益目標を達成する
- 法人の認知度を高める
- 後継者・次世代のリーダー育成に取り組む
- 行政、関係機関、地域との良好な関係の構築・発展をさせる
- チームメンバーへ施策を示す

キャリアパス

等級別研修内容

	4 管理中級／室長・主任	5 管理上級／次長	6 経営幹部／施設長
OJT	■ 報告連絡相談 ■ 経験 ■ 苦情処理 ■ 会議運営 ■ ユマニチュード	■ 報告連絡相談 ■ 経験 ■ 職員教育 ■ ユマニチュード	■ 報告連絡相談 ■ 経験 ■ 職員教育 ■ ユマニチュード
OFF JT	■ FasH（リーダー学習会） ■ 主任介護支援専門員研修 ■ 認知症実践リーダー研修 ■ 海外福祉施設視察	■ FasH（リーダー学習会）	■ マネジメント研修 ■ トップセミナー ■ 施設長研修会
自己啓発	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度	■ 奨学金制度 ■ 外部研修参加支援制度 ■ 書籍購入支援制度 ■ 表彰制度

キャリアパス

NEW 認知症ケアスキル マイスター制度

	1 ビギナー	2 初級	3 中級	4 エキスパート	5 マイスター
試験資格要件	■ 筆記試験	■ 筆記試験	■ 筆記試験	■ 筆記試験 ■ 実技試験（現場）	■ 筆記試験 ■ 実技試験（現場・模擬試験）
研修要件	■ 認知症実践者研修	■ 認知症実績者研修 ■ ユマニチュード実践者研修 or基礎研修 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	■ 認知症リーダー研修 ■ ユマニチュード実践者研修	■ 認知症リーダー研修 ■ ユマニチュード実践者研修	■ 認知症リーダー研修 ■ ユマニチュード実践者研修
求められる技能	■ 認知症や認知機能の基本を理解している ■ 認知症の人への適切な対応ができる	■ 認知症や認知機能の基本を理解している ■ 認知症の人への適切な対応ができる ■ ユマニチュードの基本を理解し実践できる	■ 認知症や認知機能の基本、原因疾患別の特徴を理解している ■ 認知症の人への適切な対応ができる ■ ユマニチュードの基本を理解し実践できる	■ 認知症や認知機能の基本、原因疾患別の特徴を理解している ■ 対応困難な認知症の人への対応ができる ■ 対応困難な認知症の人へのケアプランを立案できる ■ ユマニチュードの基本を理解し実践できる	■ 認知症全般に関する知識やユマニチュードの技術指導に係る研修を行える ■ 対応困難な認知症の人へのケアプランの立案を指導できる